



みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トゥーミー

2026年2月 vol.51



Contents

ごあいさつ

理事長 吉見直人 … 2

各施設のトピックス … 3



ご あ い さ つ

理 事 長 吉 見 直 人



いつもお世話になっております。今年は60年に一度の丙午、「エネルギーと情熱に満ちた年」と言われています。また、法人においては創設65年を迎えます。

あらゆる場面において「変化」が求められる昨今、我々も時代に即応した法人となることが重要となります。既存の事業を継承しつつ、新たな付加価値を求める年として、令和8年度は「変化に対応する準備と足元の体質強化」を進める年と位置付けます。

我々の仕事は「人が人を支える 支えあう」対人援助です。いくら効率化を図っても最終的には人が介在します。ヒトが法人を支える唯一無二の原動力となります。一方で、法人のご利用者サービスの質の向上については、障害者支援施設において発生した虐待事案を鑑み、権利擁護意識の再徹底と研修制度の充実を図り、ご利用者の安全と安心を図りながら福祉人材の確保に努めてまいります。

ご利用者をはじめ、ご家族の皆様も職員も、誰もがイキイキと輝く法人の経営にまい進する所存です。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

各施設のトピックス

認定こども園みつみ

ちいさな陶芸家 ～器づくりに挑戦～

丹波市美術作家協会の陶芸家と彫刻家の方の指導で、年長児が器づくりに挑戦しました。

日頃は粘土で様々な作品を作って遊んでいますが、陶芸の土に触れるのは初めての子ばかりで、「(粘土と)色が違う。」「これを焼いたら何色になるの？」等、興味津々で、夢中になって器づくりを楽しんでいました。お茶碗、コップ、平皿等、自分が作りたい形を1時間かけて形にし、陶芸家の芥川先生に持ち帰ってもらい、ピンクや緑色の釉薬をかけて、窯で焼いて仕上げていただきました。世界に一つだけの器が完成し、子どもたちは「かわいい！」と大喜び。素敵な卒園の記念になり、子どもたちの宝物が一つ増えました。



わかばこども園

わかばこども園での避難訓練の立会を福知山消防署へ依頼し、訓練の講評を頂きました。その他にも消火訓練の指導や消防車の見学、幼児クラスにおいては「ぼうさいダック」にも取り組みました。消防車から放たれる水の勢いや高さ、消防士の号令の掛け合いなど間近で見学させていただきました。「ぼうさいダック」ではピアノのリズムに合わせて子どもたちは身体を動かし声を出して遊びながら、災害や日常の危険から身を守る行動について消防士の方と一緒に楽しく学ぶことができました。



各施設のトピックス

おとなせ

クリスマス忘年会

12月23日にクリスマス忘年会を開催し、クリスマスならではの食事や職員による余興をご利用者の皆様楽しんでいただきました。行事の最中、職員・ご利用者も一緒にかぶり物をしてサンタとの記念写真を撮影しました。会の最後にサンタからプレゼントが配られました。



養護 三愛荘

お正月の雰囲気を感じていただけるよう、門松や今年の干支の馬等、おはな紙を使用し制作されました。紙を丸めていただく方、紙に貼っていただく方に分かれ、談話しながら取り組まれていました。

新年迎えお正月遊びとして、福笑い、かるた、書初めをしました。懐かしい遊びにご利用者同士会話も弾み自然と笑顔がこぼれていました。書初めでは、一筆一筆真剣に書かれていました。



三愛荘デイ

新年に向け、今年もたくさんのご利用者様にお手伝いいただき壁面飾り制作に取り組みました。くるくる丸めたお花紙を一面に敷き詰め、少しずつ少しずつ…2週間かけ職員との合作が完成！

80cm×160cmの大作に仕上がりました！



特養三愛荘

12月24日、クリスマス会を行いました。職員とご利用者様が一緒になって、クリスマスケーキ作りを行いました。生クリームやお菓子・フルーツなど3種類の異なるケーキが出来上がりました。皆さんからも「美味しそう。上手くできた。」と大変好評でした。

特養では4名の技能実習生を受け入れています。やさしい日本語で丁寧にご利用者に関わり、今ではご利用者から頼られる存在です。



各施設のトピックス

ききょうの杜

令和7年11月22日(土)にききょうの杜で紅葉祭りを開催しました。今年も天候に恵まれ、近隣企業のボランティアの方に前日準備や当日の露店の係も大勢参加していただき、おかげさまで笑顔や感動がいっぱいの思い出になり成功裏に終わりました。



認知症対応型指定通所介護事業所 デイサービスセンター 庵

お正月(福笑い)

正月遊びとして「福笑い」に挑戦しました。「そこじゃない。もうちょっと右や」と声をかけあいながら楽しく取り組んでいただきました。遊びやレクレーションに季節を感じる内容を取り入れ、日々の生活の中に彩りと満足感を感じていただけるよう取り組んでおります。レクレーションの後に温かいお茶とねりきりをいただきました。会話も弾み楽しいひと時を過ごしました。



おがわの里

昨年12月25日にクリスマス会を開催しました。

玄関ホールにツリーを飾り、クリスマス喫茶を開店しました。喫茶ではクリスマスケーキとコーヒーを楽しまれました。クリスマスソングをサンタに扮した職員がギター演奏で披露しました。ご利用者の皆様も歌を口ずさまれるなど、会場は笑顔と温かな雰囲気になりました。



サポートハウスけいあい

2026年の新しい年がスタートしました。午年にちなんで「幸運が駆け込み、飛躍できる良い年」となる様お祈り申し上げます。

1月18日(日)には『新年祝賀会』でご馳走と、『歌謡舞踊』の方々をお迎え致します。

乞うご(午)期待!



各施設のトピックス

京都サポートセンター

令和7年11月に秋まつりを実施しました。

令和7年度の秋まつりはものまねタレントによる演劇鑑賞を計画しご利用者の方やご家族の方、地域の方もご招待し開催いたしました。場所は令和7年10月にオープンした地域公民館をお借りしました。出演者による面白いトークや懐かしい歌を聞かせていただき、参加された皆で歌を歌ったり、笑ったりと楽しい時間を過ごしていただきました。



みつみ学苑

2025年11月17日より、インドネシアから来られたヌルルさんとララさんにみつみ学苑で生活支援として勤務頂いています。気候も文化も違う慣れない土地での生活で不安な気持ちもあると思いますが、ご利用者とはコミュニケーションを図りながら丁寧な支援をして頂いております。前向きに取り組まれる二人の姿勢から良い刺激を受け、みつみ学苑はより一層発展していきたいと思っております。



春日育成苑

穏やかな新年の幕開けとなりました。今回は、皆さんの笑顔が輝いた元旦「祝い膳」と「初詣」の様子をご紹介します。色とりどりの祝い膳に舌鼓。「美味しいね」と笑顔が溢れ、お正月気分を満喫した一日となりました。寒さも吹き飛ばす元気な姿で参拝し、無病息災を祈りました。写真からも伝わる華やかで温かい雰囲気の中、素晴らしい一年のスタートを切ることができました。



各施設のトピックス

兵庫県地域生活定着支援センター ウィズ

ウィズは、社会福祉法人みつみ福祉会が兵庫県から「地域生活定着促進事業」を受託して運営している事業所です。保護観察所からの依頼を受けて、障害や高齢のため福祉支援が必要で本人の同意がある受刑者に対して釈放後の衣食住や福祉サービス利用の準備・提供を行っています。そして、刑務所だけでなく警察署の留置施設や拘置所にいる被疑者・被告人についても、弁護人や保護観察所を通じた依頼に基づいて同様の支援を提供し、さらに地域で暮らす障害者や高齢者からの相談や、警察沙汰の既往がある利用者への支援方法などの相談にも対応しています。一方で県内一か所の事業所であり職員配置も少人数のため、地域の支援関係者や福祉事業所の協力をいただき、連携を図って活動しております。2025年の法改正に伴う受刑者向けの社会復帰プログラム強化の流れの中で、障害者や高齢者への支援の橋渡し役を担っています。写真は地域の福祉事業所依頼による定期的なケーススタディの様子です。個人情報に配慮し、顔の見える関係作りを大切に支援者と連携を図っています。



兵庫サポートセンター 生活介護事業所あおぞら

生活介護事業所あおぞらでは、作業班とチャレンジ班に分かれてご利用者が希望される活動を提供しています。作業班では主に自動車の金属部品を扱う作業に意欲的に取り組んでおられます。

チャレンジ班では、散歩、キットパス、カラオケ等の余暇活動に取り組まれています。クリスマス会では、手作り衣裳にてミッキー・ミニーに扮したサンタとトナカイさんからプレゼントを受け取っていただきました。ご利用者の皆さんは可愛らしいサンタさんの登場とプレゼントを受け取り、大変喜んでおられました。



各事業所相談支援従事者 ・サービス管理責任者等担当者研修会

令和7年度の事業方針に「相談支援従事者・サービス管理責任者等の教育機会の充実」を目指す取り組みとして、障害福祉サービスに従事する「サービス管理責任者」「児童発達支援管理責任者」「相談支援専門員」を対象に研修を開催しております。初回の研修では福祉従事者としての基盤である価値や倫理等について外部講師の方に講義をしていただきました。2回目以降は、ケアマネジメントのプロセスや基本的視点について再確認しながら、個別支援計画の作成等を行っています。参加者からは「福祉従事者として原点・基盤について振り返ることができ貴重な機会となった。今後の支援、人材育成に活かしていきたい。」「課題や問題に目が向きがちになるが、見方を変えストレングスにも着目し今後の支援を行ってきたい。」等の感想がありました。

研修を通じ個別支援計画の内容や日々の実践を振り返る良い機会となりました。また、他事業所の職員と交流し意見交換を行うことで、様々な視点や考え方に触れることができ、計画作成者に必要な「気づき」を得ることもできました。今後ご利用者本位の個別最適な支援・計画作成に向けて、資質向上を図ることを目的とした研修を継続していきたいと考えています。

研修担当 衣笠・前田



事業所管理者対象の虐待防止研修の実施

このたび、当法人が運営する障害者支援施設において、虐待として認定される事案が発生しました。ご利用者の皆様、ご家族の皆様、関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をおかけしましたこと心よりお詫び申し上げます。

本事案を重く受け止め、当法人では再発防止に向けた取り組みの一環として、管理職を対象に外部講師に依頼し虐待防止研修を複数回実施しました。本研修は虐待防止への取り組みとして、虐待防止の基本理解、課題抽出と仕組みの運用についてなど組織としての責任について学びを深めました。研修を受け、各事業所の現場で確実に活かすとともに今後も継続的な研修の受講や日々の支援体制の見直し、職員間での声かけや相談体制の強化を図り、ご利用者の人権を最優先として支援の徹底に努めてまいります。



みつみ福祉会 事業所の栄養士によるレシピ紹介

『白身魚の甘酢あんかけ』

材料

- (1人分)
- ・白身魚 1切 (80g)
 - ・塩こしょう 少々
 - ・片栗粉 10g
 - ・揚げ油 適量
 - ・たまねぎ 30g
 - ・ピーマン 5g
 - ・赤ピーマン 5g
 - ・黄ピーマン 5g
 - ・酢 大さじ1と1/2
 - ・濃口醤油 大さじ1
 - ・料理酒 大さじ1/2
 - ・砂糖 小さじ1
 - ・トマトケチャップ 小さじ1
 - ・中華だし 小さじ1/2
 - ・水 50ml
 - ・片栗粉 小さじ1

作り方

1. たまねぎ・ピーマン・赤ピーマン・黄ピーマンは細切りにする
2. 白身魚は塩こしょうで下味をつけ、キッチンペーパーで水気をとる
3. 2に片栗粉を薄くまぶす
4. 170℃に温めた油できつね色になるまで揚げる
5. ※を合わせ、調味料を作っておく
6. 1を油(分量外)で炒め、しんなりしてきたら5を入れてとろみが付くまで煮詰める
7. 4にかけてできあがり



〈ポイント〉

- ・魚は旬のもの使うとより栄養価が高く美味しいです。今回は白身魚を使用しましたが、青魚を使っても臭みを感じにくく食べやすい味付けです
- ・野菜もたくさん摂ることができます。アレンジもしやすいので冷蔵庫に余っている食材でぜひ！きのこや葉物野菜もおすすです。
- ・野菜や魚が苦手なご利用者様にも人気の一品です☆

あとがき

令和8年、明けましておめでとうございます。今年の干支は午年ですね。馬は昔から荷物や人を運ぶ存在として人々の暮らしを支えてきました。そのことから、馬は「家族を守る」「幸せを運ぶ」縁起のよい存在とされ、力強くまっすぐしなやかに疾走する姿から、午年は物事が順調に進み努力が実る年とも言われます。このエネルギーに満ちた年を馬のように力強く駆け抜けていきましょう。

わかばこども園 井上

みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トゥーミー vol.51

2026. 2月発行

発行所：社会福祉法人 みつみ福祉会

発行人：吉見 直人

〒669-4132

兵庫県丹波市春日町野村 65-1 番地

TEL 0795-75-0314 FAX 0795-75-1694

URL <http://www.mitsumi.or.jp>



掲載した写真等は、個人情報保護法により、ご本人、ご家族のご理解の上使用しております。